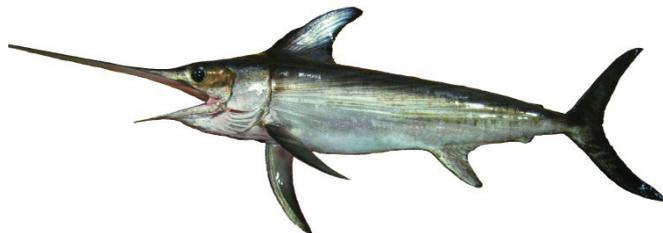


## メカジキ 北太平洋

Swordfish *Xiphias gladius*

## 管理・関係機関

中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC)  
 全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC)  
 北太平洋まぐろ類国際科学委員会 (ISC)

## 生物学的特性

- 最大体長・体重：眼後叉長 300 cm・500 kg
- 寿命：9 歳以上
- 性成熟年齢：50%性成熟年齢は雄が約 1 歳、雌が約 3 歳
- 産卵期・産卵場：周年（盛期は 4～9 月）、熱帯・亜熱帯海域
- 索餌期・索餌場：夏、温帯域
- 食性：魚類、頭足類
- 捕食者：調査中

## 利用・用途

切り身（ステーキ）、刺身、寿司、煮付け

## 漁業の特徴

近年の漁獲の 8 割以上は、本種を主対象として夜間に浅く漁具を設置するはえ縄で漁獲するが、大目流し網、突きん棒、マグロ類を狙うはえ縄の混獲でも漁獲する。

## 漁獲の動向

ISC に報告された本資源の総漁獲量は、1960 年前後に 2 万トンを上回ったが、その後急激に減少し、1 万トン前後に落ち込んだ。しかし 1980 年代以降米国及び台湾の漁獲量の増加により、1993 年の総漁獲量は再び 2 万トンに近づいた。2000 年代に入ると、台湾の漁獲量が増加したものの、米国やメキシコの漁獲量が減少したために、総漁獲量は再び減少し、2022 年は 6,660 トンであった。我が国の漁獲量は、1980 年代後半までは 0.8 万～1.2 万トンであったが、1994 年以降は一貫して減少傾向にあり、2011 年には 4,460 トンまで減少した。2022 年の漁獲量は 4,085 トン（暫定値）である。

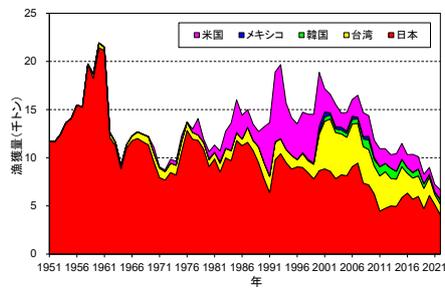
## 資源状態

北太平洋系群の本資源の最新の資源評価は、ISC かじき類作業部会によって 2023 年 4 月に統合モデル (SS3.30) を適用して行われた。現在の雌の産卵親魚量 (SSB) は 35,778 トンで最大持続生産量 (MSY) 実現する SSB ( $SSB_{MSY}$ 、16,388 トン) を上回り、乱獲状態になく、漁獲死亡係数 (F) は MSY を実現する F ( $F_{MSY}$ ) を下回っており、過剰漁獲状態にないとされた。

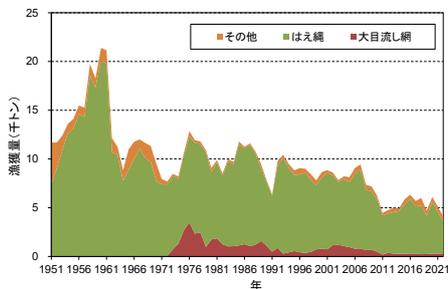
## 管理方策

北太平洋系群については、2018 年 9 月の WCPFC 北小委員会において、本資源の管理目標について議論され、資源量を、最大持続生産量が得られる水準に維持しつつ漁業を発展させることを目的とすることが合意されたものの、限界管理基準については米国が提案した漁獲圧を指標とするか、WCPFC で管理する他の魚種と同様に資源量を指標にするかの間で意見が分かれ、合意に至らなかった。2019 年の WCPFC 北小委員会では、 $F_{MSY}$  を限界管理基準値とすることを含む漁獲戦略が取りまとめられ、同年 12 月の WCPFC 年次会合で採択された。具体的な保存管理措置として、2022 年の WCPFC 年次会合で、年間の漁獲量が 200 トンを超える漁業は、北緯 20 度以北の海域において、漁獲努力量（漁船隻数、操業日数等）を基準年（2008～2010 年）より増加させとする保存管理措置が採択された。

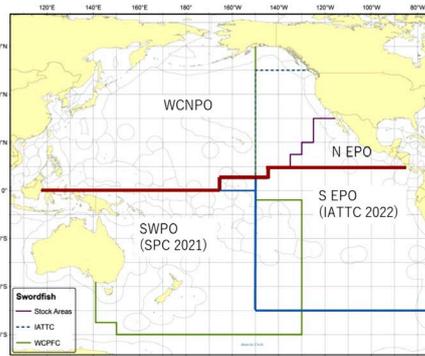
メカジキ（北太平洋）の資源の現況（要約表）	
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	6,660~10,110 トン 最近 (2022) 年: 6,660 トン 平均: 8,252 トン (2018~2022 年)
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	4,085~6,098 トン 最近 (2022) 年: 4,085 トン 平均: 5,202 トン (2018~2022 年)
資源評価の方法	統合モデル (SS3) による解析
資源の状態 (資源評価結果)	$B_{2021}$ : 88,755 トン $SSB_{2021}$ : 35,778 トン、 $SSB_{MSY}$ : 16,388 トン ( $SSB_{2021}/SSB_{MSY}$ : 2.18) $F_{2021}/F_{MSY}$ : 0.5 2021 年の資源状態は、過剰漁獲ではなく、乱獲状態でもない
管理目標	$F_{MSY}$ : 0.18
管理措置	年間の漁獲量が 200 トンを超える漁業は、北緯 20 度以北の海域において 2008~2010 年の努力量を上回らないこと
管理機関・関係機関	ISC、WCPFC、IATTC
最新の資源評価年	2023 年
次回の資源評価年	2027 年



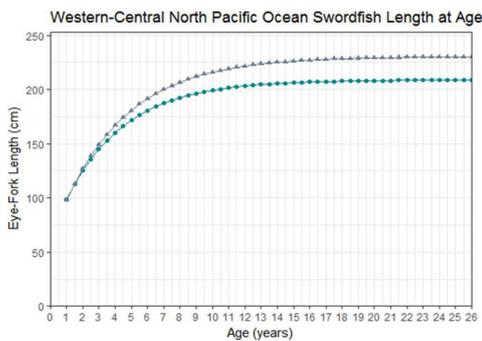
北太平洋（赤道以北）におけるメカジキの国・地域別漁獲量（1951~2022 年）



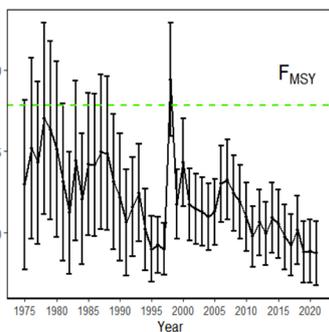
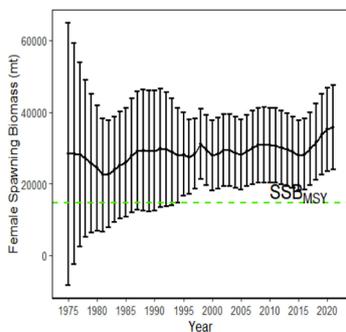
北太平洋（赤道以北）におけるメカジキの我が国の漁法別漁獲量（1951~2022 年）



太平洋におけるメカジキ資源評価の海域区分  
2023 年の資源評価は、WCNPO と N EPO を合わせた海域で実施された。



北西太平洋のメカジキの成長曲線  
縦軸は眼後叉長。丸が雄、三角が雌を示す。



北太平洋系群（1975~2021 年）の資源評価結果

左図は、産卵親魚量の推移（黒線）及び最大持続生産量の生産に必要な資源量（緑色点線、 $SSB_{MSY}$ ）を示す。右図は、漁獲死亡係数（黒線）及び最大持続生産量の生産に必要な漁獲率（緑色点線、 $F_{MSY}$ ）を示す。両図とも、エラーバーは 95%信頼区間を示す。